

新庁舎建設に関する意見交換

小清水町防災拠点型複合庁舎建設基本構想より少し具体的に、次の内容について、すべての会場で意見交換を行いました。施設の在り方や運営、管理の方法などいただきましたご意見は、今後の計画に反映していきます。

1. 葬儀場について

中央公民館のホールは、大きな会議や集会、文化団体の練習場所、葬儀場として主に利用されていますが、利用頻度は多くないため、愛ホールに会場を移すことができると考えています。

また、文化団体や葬儀会社と相談しているところですが、愛ホールも葬儀を行うために必要な設備が整っており、浜小清水公民館と止別公民館については、すでに葬儀場として利用しています。そのため、葬儀場として使えるホールを新たに整備しなくても、葬儀を行う会場がなくなる事態にはならないと考えています。

2. 商工会について

現在の商工会館は昭和42年建設され、平成4年に改装したものの、50年以上が経過しているため、建物の老朽化が進行しています。しかし、商工会としては、会員の減少、財源問題などから建て替えは困難と判断し、新しい庁舎に事務所を複合化して欲しいとの要望がありました。

町としては、地域商工業者の指導機関として重要な役割を果たすために行政との連携が必要なこと、人が集まり、賑わいの創出空間となるエリアの管理、運営の役割を担うことができるものと考え、複合庁舎に含めることができないか検討しています。

3. 議場について

平成19年度の役場庁舎改修の際に、議会の同意を得て、専用の施設であった議場を多目的に使用できるように、議長席、議員席、傍聴席などを閉会時には収納できるよう可動式の机、椅子に更新しました。

新庁舎においても、それぞれの部屋を有効かつ合理的に使用することを考え、現在の議場と同様に可動式の机、椅子を配置し、閉会時には会議室、災害時には一時的な避難所として多目的に利用できるように考えています。議会からもおおむね了承を得ています。